# 会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会議名<br>（審議会等名）</td><td colspan="3">令和８年度　相模原市青少年問題協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務局<br>（担当課）</td><td colspan="3">こども・若者応援課<br>電話０４２－７５１－００９１（直通）</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催日</td><td colspan="3">令和８年１０月１４日（水）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　員</td><td colspan="3">１６人（別紙のとおり）</td></tr>
<tr><td>事務局等</td><td colspan="3">８人（こどもの居場所づくり担当部長　ほか７人）</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開の可否</td><td>■可　□不可　□一部不可</td><td>傍聴者数</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議次第</td><td colspan="3">１　開会<br><br>２　議題<br>（１）協議事項<br>会長及び副会長の選任について<br>（２）報告事項<br>ア　ＳＮＳ等によるトラブルについて<br>イ　不登校支援について<br>①「さがそうみらいみんなでつながるアクションプラン<br>～相模原市不登校総合対策実行計画～」について<br>②地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援体制の整備について<br>ウ　こどもの自殺対策について<br><br>（３）青少年健全育成リーフレットの作成について<br><br>３　その他<br><br>４　閉会</td></tr>
</table>

# 審　議　経　過

主な内容は次のとおり。

1　開会

2　議題

（1）協議事項

会長及び副会長の選任について

出席委員の互選により、和泉短期大学特命教授の井狩委員が会長に、市教育委員会学校教育部長の石井委員が副会長に選任された。

（2）報告事項

ア　ＳＮＳ等によるトラブルについて

今年５月に栃木県で起きた、ＳＮＳを通じて本市の高校生が犯罪に巻き込まれた事件を受けて、本市教育委員会にて実施された道徳教育を活用した対応策について、教育センターより説明した後、小学校、中学校より児童生徒の状況、各警察署より、ＳＮＳトラブルにおける青少年の被害の現状について、それぞれ報告があった。

（齋藤（賢）委員）

過去にあった道徳教育の時間が現在は無くなったと認識しているが、今回、事件を受けて道徳の事業を再開したということか。

（事務局等）

道徳教育自体は昔から続いているが、小学校は平成３０年、中学校は平成３１年から、それぞれ学習指導要領の中で教科化され、取扱いが変わってきた経過がある。

教科化により、道徳は特別な教科として年間３５時間の授業を設けて実施することになっており、「規範意識」など、いくつかに分かれた項目に沿って評価することとなった。

こうした流れの中で、今回の事件を受けて、市教育委員会が独自に教材を作成したところである。

（山口委員）

市内中学生への当該道徳事業は全て完了している状況か。

また、道徳の授業を受けた後の生徒たちの反応はどのようなものであったのか、伺いたい。

（河上委員）
　今年７月の初旬には全中学校で完了している。反応として一番多いのは「怖い」、「気を付けなくては」というものである。また、実際に近い内容で教材が作られているので、ちょっとしたことで巻き込まれることを理解したと感じている。
　この道徳の授業だけで終わらせずに、１学期末の学年集会などの機会を捉えて、繰り返し、現実的に起こり得ることであることを伝えている。
（笹嶺委員）
　小学校としては、１年生から６年生で年齢に幅がある中で、道徳という形ではないが、年齢に合わせて話をしている。６年生になると、ある程度状況が分かっていて、携帯電話やＳＮＳの使い方についての意識は高まったのではないか、と学校としては認識している。

（齊藤（麻）委員）
　ビーリアルやセットログなど、今、子どもたちが使っているアプリがどんどん進化していて、保護者がついていけない状況である。こうした進化に対応した子どもを守るプログラムも作ってもらえれば良いと考えている。
（井狩会長）
　こうしたことは保護者にとって大きなテーマであると感じるため、是非、ご検討いただきたい。
（事務局等）
　今回ご説明した道徳の授業に加え、保護者あての注意喚起の通知、相談窓口の案内など、市教育委員会として、子どもたちを加害者にも被害者にもしないための取組を進めてきたが、これで十分とは考えておらず、今後もこの取組について、引き続き検討していきたいと考えている。

（依田委員）
　栃木県で起きた事件は全国的なニュースとして話題にあがっているが、身近でもＳＮＳがらみの怖い案件がある。
　他者に個人情報を晒（さら）されたことへの報復行為が少年の凶悪事件に発展したというケースである。昔の固定電話が連絡手段であった時代と違い、スマホがあれば何でも情報を取れ、共有もできるという状況であり、ポジティブなこともあるが、怖い時代である。
（伊藤委員）
　只今、市教育委員会の取組の説明があったが、学校が対応してくれたからそれで終わりということではなく、各委員の皆さんがそれぞれの所属に持ち帰り、状況を

認識するだけではなく、地域として何ができるのか、どうやって子どもたちを育てていくのかが一番大事だと感じている。

（井狩会長）

本日欠席している保護司の中村委員も今回の栃木県で起きた事件について考えているとのことで、今回の皆様からのご意見、情報を事務局から伝えていただきたい。

イ　不登校支援について

①「さがそうみらいみんなでつながるアクションプラン～相模原市不登校総合対策実行計画～」について

今年１月に市教育委員会と市長部局が連携して策定した当該計画について、教育相談課から説明した。

（井狩会長）

説明でも触れられた「学びの多様化学校」は、都内では八王子市に開校して久しく、その後世田谷区に２校目が開校したと聞いている。令和１１年度には相模原にも開校することを伺い、不登校対応が進んできたことを感じる。

② 地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援体制の整備について

当該計画にて位置付けれている、市長部局による地域と連携した取組について、こども・若者応援課から説明した。

（井狩会長）

各地区にある子どものための施設と地域が連携して取組を進めるイメージを理解した。

ウ　こどもの自殺対策について

本市におけるこどもの自殺対策の取組等について、精神保健福祉課より説明した。

（事務局等）

近年、日本の自殺者の総数は減少傾向にある一方で、こどもの自殺者数は増加傾向が続いている背景により、令和７年６月に自殺対策基本法の一部が改正されたところ。

この改正において、地方自治体は、こどもの自殺の防止等について情報交換及び必要な対処等の措置の協議を行う協議会を置くことができることが定められた。

（3）青少年健全育成リーフレットの作成について

例年２月に発行している「青少年健全育成リーフレット」について、今年度は、先に情報提供、意見交換のあったＳＮＳトラブルに関する記載を強化して、作成することとし、後日、事務局より各委員に原稿の確認依頼をすることとした。

3　その他

（石井副会長）

補足となるが、報告事項アで説明のあった道徳の授業については、本来、その内容を前年度に決めて実施することになっているが、今回の５月中旬の事件を受け、「子どもたちを加害者にも被害者にもしない」との細川教育長の強いリーダーシップのもと、中学校長も一丸となり、７月の全校実施に至ることできた。

これを受けて警察からも可能な対策について提案をいただき、これで終わりという訳ではないが、市として一体感をもって子どもたちを守るために対応できたと感じている。

また、これは希望のある話で、不登校支援の取組において校内教育支援センターの説明があったが、地域の民生・児童委員がこうした部屋に来て、見守りいただいている場面がある。このような地域の皆様の力が、子どもたちを育てるためには大事だと思うので、是非、お力を貸していただきたい

4　閉会

事務局より、次回の開催予定について説明し、閉会とした。

以　上

# 令和８年度　青少年問題協議会委員出欠席名簿

| No. | 氏　　名 | 所属等 | 出欠席 |
|---|---|---|---|
| 1 | 井狩　芳子 | 和泉短期大学　特命教授 | 出席 |
| 2 | 杉野　孝幸 | 相模原市社会福祉協議会　常務理事 | 出席 |
| 3 | 鈴木　泰信 | 相模原市自治会連合会　理事 | 欠席 |
| 4 | 中村　洋子 | 相模原市保護司会協議会　副会長 | 欠席 |
| 5 | 伊藤　孝久 | 相模原市公民館連絡協議会　会長 | 出席 |
| 6 | 加藤　美夜子 | 相模原市青少年健全育成組織連絡協議会　会長 | 出席 |
| 7 | 齊藤　一城 | 相模原市青少年指導委員連絡協議会　会長 | 出席 |
| 8 | 齊藤　賢一 | 相模原市子ども会育成連絡協議会 | 出席 |
| 9 | 齊藤　麻里亜 | 相模原市PTA連絡協議会 | 出席 |
| 10 | 山口　絹子 | 相模原人権擁護委員協議会 | 出席 |
| 11 | 大塚　學 | 相模原市民生委員児童委員協議会　委員 | 出席 |
| 12 | 大井　駿平 | 相模原市青年会議所　副理事長 | 欠席 |
| 13 | 依田　稔 | 相模原警察署生活安全第二課　課長 | 出席 |
| 14 | 山田　拓生 | 相模原南警察署生活安全課　課長 | 欠席 |
| 15 | 小野﨑　雄一 | 相模原北警察署生活安全課　課長 | 出席 |
| 16 | 大里　快路 | 津久井警察署生活安全課　課長 | 出席 |
| 17 | 古谷　ゆう子 | 横浜地方法務局相模原支局　総務課長 | 欠席 |
| 18 | 甲斐　秀幸 | 神奈川県立相模原弥栄高等学校　校長 | 欠席 |
| 19 | 笹嶺　由香 | 相模原市立小学校長会(谷口小学校校長) | 出席 |
| 20 | 河上　隆 | 相模原市立中学校長会(東林中学校校長) | 出席 |
| 21 | 石井　紀子 | 市教育委員会学校教育部　部長 | 出席 |
| 22 | 藤田　信子 | 市こども・若者未来局児童相談所　所長 | 出席 |